

外国人と日本人のちがいと未来

小学校六年

ぼくは、「外国人と日本人のちがいつてなんだろう？」ということを考えたことがあります。日本に住んでいる外国人、外国に住んでいる日本人など世界にはいろいろな人がいます。しかし、中には言語や文化、肌の色などを理由にした差別や偏見があることを知りました。

ぼくの家は農業をしていて、外国人も一緒に働いています。みなさん日本語を少し話すことができます。一緒に過ごす中でぼくが一番びっくりしたことは、イノシシを自分たちでさばいて食べていたのを見たことです。ぼくも少し様子を見せてもらいましたが、手際よくきれいにさばいていて、すごいなと思いました。ぼくの家では、自分で肉をさばくことは無いけれど、その国では普通のことだと言っていて、文化のちがいを感じました。他の国のことや、ちがいを知ることはおもしろいなと思いました。

差別が起こるのは、相手のことをよく理解できていないことや、自分とちがうということで偏見をも

つことが原因ではないかと思っています。肌の色や文化など、ちがいがあっていろいろな人がいるからこそ、人はおもしろいのだと思います。世界中の人々が自分たちのことを誇りに思うことと、相手の事をよく知ることとで差別を減らすことができるのではないかと思います。差別のない世界をつくるために、まずは自分たちの身の回りから、差別をなくしていくことが必要であるとぼくは思います。